

産婦人科 *Obstetrics and Gynecology*

1. スタッフ構成

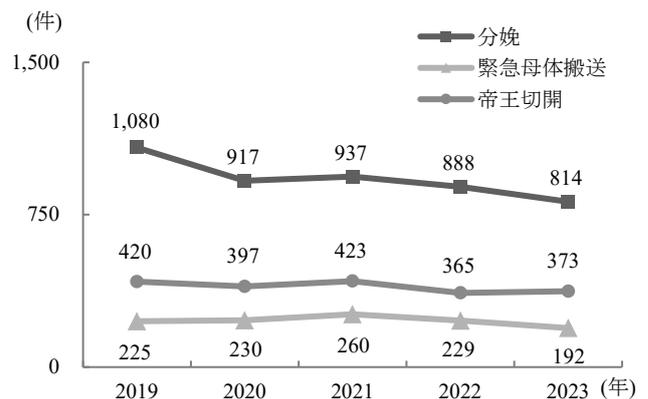
- 近藤 裕司(総合周産期母子医療センター長)
1987年岡山大学医学部卒
専門分野:周産期医学、婦人科手術
資格:日本産科婦人科学会産婦人科専門医・指導医、母体保護法指定医、厚生労働省臨床研修指導医
- 阿部 恵美子(主任部長、総合周産期母子医療センター副センター長)
1993年愛媛大学医学部卒
専門分野:周産期医学、婦人科手術
資格:日本産科婦人科学会産婦人科専門医・指導医、日本周産期・新生児医学会周産期専門医(母体・胎児)・周産期専門医(母体・胎児)指導医、臨床遺伝専門医制度委員会臨床遺伝専門医、日本女性医学学会女性ヘルスケア暫定指導医、母体保護法指定医、厚生労働省臨床研修指導医
- 森 美妃(部長)
2004年高知医科大学卒
専門分野:周産期医学、婦人科手術
資格:日本産科婦人科学会産婦人科専門医・指導医、日本周産期・新生児医学会周産期専門医(母体・胎児)・周産期専門医(母体・胎児)指導医、日本女性医学学会女性ヘルスケア専門医、日本産科婦人科遺伝診療学会認定医(周産期)、母体保護法指定医、厚生労働省臨床研修指導医
- 田中 寛希(部長)
2004年愛媛大学医学部卒
専門分野:産婦人科一般、内視鏡手術
資格:日本産科婦人科学会産婦人科専門医・指導医、日本産科婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医、日本女性医学学会女性ヘルスケア専門医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター、母体保護法指定医、厚生労働省臨床研修指導医
- 池田 朋子(部長)
2005年愛媛大学医学部卒
専門分野:周産期医学、婦人科手術
資格:日本産科婦人科学会産婦人科専門医・指導医、日本周産期・新生児医学会周産期専門医(母体・胎児)・周産期専門医(母体・胎児)指導医、臨床遺伝専門医制度委員会臨床遺伝専門医、母体保護法指定医、厚生労働省臨床研修指導医
- 中橋 一嘉(医長)
2013年広島大学医学部卒
専門分野:産婦人科一般
資格:日本産科婦人科学会産婦人科専門医
- 上野 愛実(医長)
2014年愛媛大学医学部卒
専門分野:産婦人科一般
資格:日本産科婦人科学会産婦人科専門医、母体保護法指定医、厚生労働省臨床研修指導医

- 井上 翔太(医長)
2016年愛媛大学医学部卒
専門分野:産婦人科一般
資格:日本産科婦人科学会産婦人科専門医、母体保護法指定医、厚生労働省臨床研修指導医
- 西野 由衣(医師)
2019年愛媛大学医学部卒
専門分野:産婦人科一般
- 井上 奈美(医師)
2019年愛媛大学医学部卒
専門分野:産婦人科一般
- 城戸 香乃(産婦人科専門研修プログラム専攻医)
2021年愛媛大学医学部卒
専門分野:産婦人科一般
- 鎌倉 百合(診療委託)
- 福岡 真弓(診療委託)
- 今井 統(診療委託)

2. 実績

12週以降の分娩数は814件でした。県内の出生数は全国的な傾向と一致しCOVID-19の影響もあり減少が顕著になり、当センターもその影響を受け減少したものと考えられます。当センターは県内全域から多くの母体搬送を受け入れているため、緊急母体搬送数は192件でした。分娩数は減少していますが、母体搬送率は上昇しており、総合周産期母子医療センターとしての重要性が増しているものと考えられます。

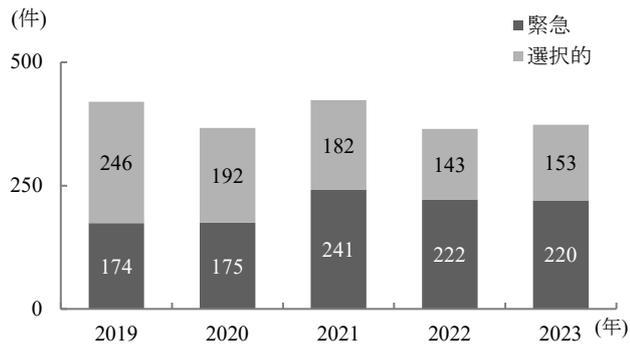
■ 分娩数・緊急母体搬送数・多胎妊娠数の推移



帝王切開については、帝王切開数は373件、うち緊急帝王切開数は220件、選択的帝王切開数は153件でした。

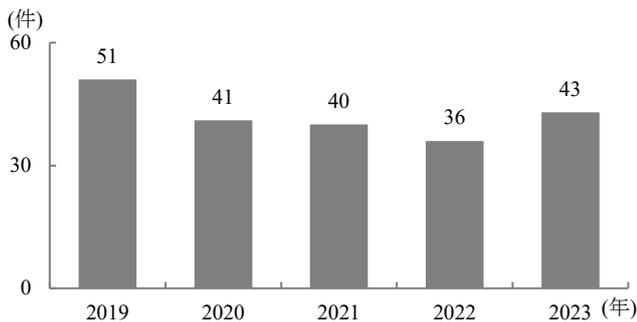
当センターでは新生児内科、麻酔科等関係各科と良好な連携のもと、迅速な帝王切開を提供できています。また三次救急とも連携して、母体救命が必要な合併症妊婦についても、母体救命対応総合周産期母子医療センターとしての機能を果たしています。

■ 帝王切開数の推移および内訳



多胎妊娠は43件(母体数)でした。

■ 多胎妊娠の推移



■ 疾患別入院患者数

疾患名(ICD10 準拠)	患者数
O14 妊娠高血圧症候群	79
O20 切迫流産	26
O32 骨盤位	73
O33 児頭骨盤不均衡	7
O34 既往帝切後妊娠	105
O36 子宮内胎児発育不全	51
O42 前期破水	145
O44 前置胎盤	19
O47 切迫早産	231
O48 分娩予定日超過	232
O66 分娩停止	52
O68 胎児機能不全	53
O72 弛緩出血	29
C549 子宮体癌	8
C56 卵巣癌	6
D25 子宮筋腫	144
D39 卵巣腫瘍	95

婦人科手術では良性疾患の腹腔鏡下手術を中心とした内視鏡下手術を行っており、腹腔鏡下手術は225件、子宮鏡下手術は21件、ロボット手術は6件施行しました。これらの低侵襲手術により在院日数の短縮に貢献しています。

■ 手術件数

手術名	症例数
腹腔鏡下手術	225
子宮鏡下手術	21
子宮全摘術(腹・腔式)	61

開腹付属器手術	12
子宮脱手術	13
緊急帝王切開術	220
予定帝王切開術	153
円錐切除術	18
ロボット手術	6

3. 2024年度目標

当科は愛媛大学医学部附属病院や松山赤十字病院からも搬送を受けるなど、多くの重症なハイリスク妊娠分娩を取り扱うため、新生児内科、小児外科とのカンファレンス等を通してさらに連携を強め、より高度で安全な妊娠分娩管理を実施していきたいと考えます。

病診連携の推進については、紹介率および逆紹介率をさらに高めるよう努めることを目標としました。

近年の産科入院患者の増加に対して、病床の問題に十分配慮し、経産分娩後1日、緊急帝王切開後2日での紹介元への逆搬送の実施等で病床利用に配慮し、病床利用効率の向上に貢献していきたいと考えています。また、病床が不足した場合の他病床への患者さんの転床にあたっては、産科病床選択や転床時の説明等に十分な配慮を行うようにします。これらによって母体搬送の受け入れ要請については全例対応できるよう配慮していきます。

婦人科では夜間でも十分な手術実績のある医師が手術に入るようにし、安全な手術治療の提供に配慮していきます。

4. 学術関係

(1) 学会発表および講演

- 島瀬奈津子、阿部恵美子、井上奈美、丹下景子、行元志門、横畑理美、上野愛実、池田朋子、田中寛希、森美妃、近藤裕司。超音波検査を用いた甲状腺機能スコアリングシステムによる甲状腺機能評価に基づき胎児治療を行った、母体バセドウ病に合併した胎児甲状腺腫の一例。第19回中国四国出生前医学研究会。松山(2023.2.18)
- 島瀬奈津子、阿部恵美子、井上奈美、丹下景子、行元志門、横畑理美、上野愛実、池田朋子、田中寛希、森美妃、近藤裕司。母体バセドウ病に合併した胎児甲状腺腫に対し、超音波検査を用いた甲状腺機能スコアリングシステムにより甲状腺機能評価を行い胎児治療を行った一例。第75回日本産科婦人科学会学術講演会。東京(2023.5.12-14)
- 井上奈美、田中寛希、島瀬奈津子、丹下景子、行元志門、横畑理美、上野愛実、池田朋子、森美妃、阿部恵美子、近藤裕司。当院におけるretained products of conception(RPOC)の管理方法についての検討。第75回日本産科婦人科学会学術講演会。東京(2023.5.12-14)
- 城戸香乃、池田朋子、島瀬奈津子、伊藤恭、山内雄策、大木悠司、横畑理美、上野愛実、田中寛希、森美妃、阿部恵美子、近藤裕司。敗血症を伴った流産の3症例。第74回愛媛県産婦人科医学会学術集談会。松山(2023.5.20)
- 石村景子、田中寛希、城戸香乃、島瀬奈津子、伊藤恭、山内雄策、大木悠司、横畑理美、上野愛実、池田朋子、森美妃、阿部恵美子、近藤裕司。後期研修における腹腔鏡下子宮全摘術(TLH)のラーニングカーブの検討。第74回愛媛県産婦人科医学会学術集談会。松山(2023.5.20)
- 島瀬奈津子、森美妃、城戸香乃、伊藤恭、山内雄策、大木悠司、横畑理美、上野愛実、池田朋子、田中寛希、阿部恵美子、近藤裕司。高齢者に発症した陰唇癒着症の一例。第74回愛媛県産婦人科医学会学術集談会。松山(2023.5.20)
- 阿部恵美子、池田朋子、森美妃、近藤裕司。当院における非侵襲性出生前遺伝学的検査の現状。第26回愛媛県産科産期医療研究会。松山(2023.6.10)
- 阿部恵美子、石村景子、上野愛実、池田朋子、森美妃、近藤裕司。当院

における未受診妊婦についての現状. 第 59 回日本周産期・新生児医学会学術集会. 名古屋 (2023.7.9-11)

9. 森美妃、石村景子、上野愛実、池田朋子、阿部恵美子、近藤裕司. 当院において養子縁組を行った症例についての検討. 第 59 回日本周産期・新生児医学会学術集会. 名古屋 (2023.7.9-11)
10. 池田朋子、石村景子、上野愛実、森美妃、阿部恵美子、近藤裕司. 当院における胎児腹壁破裂の 4 例の検討. 第 59 回日本周産期・新生児医学会学術集会. 名古屋 (2023.7.9-11)
11. 田中寛希. ダブルバイポーラ法を用いたロボット手術導入. 第 63 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会. 滋賀 (2023.9.14-16)
12. 城戸香乃、池田朋子、島瀬奈津子、伊藤恭、山内雄策、大木悠司、横畑理美、上野愛実、田中寛希、森美妃、阿部恵美子、近藤裕司. 敗血症を伴った流産の 3 症例. 第 75 回中国四国産科婦人科学会総会ならびに学術講演会. 島根 (2023.9.17-18)
13. 島瀬奈津子、森美妃、城戸香乃、伊藤恭、山内雄策、大木悠司、横畑理美、上野愛実、池田朋子、田中寛希、阿部恵美子、近藤裕司. 排尿時の陰部痛を契機に診断した陰唇癒着症の一例. 第 75 回中国四国産科婦人科学会総会ならびに学術講演会. 島根 (2023.9.17-18)
14. 田中寛希、上野愛実. 腹腔鏡技術認定医に向けての傾向と対策 2023. 第 3 回愛媛県産科婦人科内視鏡研究会. Web 開催 (2023.10.27)
15. 新田庄太郎、森美妃、城戸香乃、島瀬奈津子、井上翔太、大木悠司、上野愛実、池田朋子、田中寛希、阿部恵美子、近藤裕司. 急性虫垂炎合併妊娠の 11 例. 第 75 回愛媛県産科婦人科医学会学術集談会. 松山 (2023.11.25)
16. 城戸香乃、田中寛希、島瀬奈津子、井上翔太、大木悠司、上野愛実、池田朋子、森美妃、阿部恵美子、近藤裕司. 傍尿道平滑筋腫の 1 例. 第 75 回愛媛県産科婦人科医学会学術集談会. 松山 (2023.11.25)
17. 田中寛希. 高齢者に発症した陰唇癒着症の一例. 第 38 回日本女性医学学会学術集会. 徳島 (2023.12.2-3)

(2) 論文・著書

1. 瀬村肇子(松山赤十字病院産婦人科)、横山真紀(市立宇和島病院産婦人科)、阿部恵美子、杉山隆(愛媛大学大学院医学系研究科産婦人科学講座). 妊娠糖尿病妊婦の肥満合併による妊娠合併症リスク因子の検討. 糖尿病と妊娠 23 卷(2 号). S-61-S-62 (2023.8)